

有縁の皆さんでお読み下さい

去る梅と来る桜があるように、去る命もあり来る命もある

お念仏の 家族に なるう

毎月 25 日発行  
お寺のかわら版  
純正寺報

しょう しき しょう こう  
**青色青光** No.321



発行責任者：浄土真宗本願寺派 護法山 純正寺 住職 釋 覚恵（漢見覚恵）  
〒 522-0075 滋賀県彦根市佐和町 3-29 TEL (0749)-22-7888 FAX (0749)-47-4829  
メールアドレス：purity-temple.since1499@nifty.com

※この紋章は「法輪」といい、車の輪が回り続けるように未来に向かって永遠に弘められていく仏教を象徴した、世界中の仏教徒共通のシンボルです。

新しい日常は、仏法聴聞してこそ確かなものに

純正寺前住職

常然院釋覺祐三十三回忌

三月九日（木）

午後二時より三時半まで

勤行 『仏説無量寿経』

法話 龍泉寺住職

西郷 教信 師

春季彼岸会

三月十九日（日）

午前十時から正午まで

午後一時半から三時半まで

勤行 『正信偈・和讃』

法話 京都與禪寺住職

藤澤 慈恩 師

YouTube 純正寺チャンネル LINE 純正寺公式アカウント 純正寺公式ホームページ



上記の QR コードを、スマホの QR コードリーダーで読み込んでください。

3月25日（土）

10:00~12:00 13:30~15:30

こんき常例布施

法話：多賀町蓮浄寺 豊原 真人 師

純正寺の法要は「YouTube」「LINE LIVE」で、生配信でも録画でもご視聴・お聴聞していただけます。

# 住職法話 我聞如是

われかくのごとくきく

## 自らを鳥とし、法を鳥とせよ

### マスクを外せない

いよいよ三月、年度末です。多くの学校は卒業式の季節ですね。私の一番下の子どもも、ついに最後の卒業式を迎えることになりました。思えば、大学に入学して一年も経たないうちに新型コロナウイルスが世界中に広がり、大学に登校することもできず、授業もオンラインで。時間の経過と共に、徐々に登校できるようにはなりませんが、マスクも外せずお互いの素颜さえ充分に知ることもないまま卒業を迎えることになりました。

政府は、卒業式は基本的にマスクを付けずに開催を

と言いついていますが、児童・生徒たちはマスクをした顔をお互いが認識しているので、今更マスクを外して「あなたは誰？」というようなことになるのが怖くて、マスクを外せないという思いを持つ子も多いようです。

厚生労働省は、五月八日からこのコロナウイルス感染症の扱いを、結核やジフテリア、SARSやMERSなどと同じ「二類相当」の扱いから、季節性インフルエンザなどと同じ「五類」の扱いに変更されることを決めました。それに伴い、名称も「新型コロナウイルス感染症」から「コロナウイ

ルス感染症2019」に変更することが検討されています。これは、政府によるコロナウイルス感染症の収束宣言になるのでしょうか。

### ものさしのない不安

しかし、私たちの身の回りでは未だに感染することへの恐れや不安を感じている人が、世代・年代に関わらずまだまだ多いようです。私は、この恐れや不安の原因の一つに、物事を判断するのに必要な「ブレないものさし」を持っていない人が多いからではないかと考えています。

インターネットの普及により、居間にいながらにして世界中とつながれるようになりました。その結果、世界中の様々な情報が瞬時

に手に入るようになりました。しかし、その大量の情報処理し整理し判断する確かなものさしがないため、かえって混乱してしまうことになっていきます。しかも、大量の情報の中には誤った情報や偽の情報も混在しているために、それが不安や恐怖感につながっているのではないのでしょうか。

去る二月十五日、お釈迦様が八十年のご生涯を終えて完全なるさとりである涅槃（ニルバーナ）にお入りになった記念日「涅槃会」をお勤めいたしました。今年の涅槃会は、『浄土三部経』の拝読と、『大パーリニツヴァーナ経』を世界的仏教学者である中村元先生が日本語訳された「ブツダ最後の旅」を手掛かりに、お釈迦様が亡くなられるまでの

三ヶ月間を学ばせていただきました。

### お釈迦様のご遺言

このお経によりますと、お釈迦様は亡くなられる三ヶ月前、『無量寿経』をお説きくださいました霊鷲山におられた時、お弟子のアーナンダ様に「さあ旅に出よう」とおっしゃって、お弟子方と共に生まれ故郷のカピラ城に向かって霊鷲山を出発されました。

お釈迦様は、行く先々の町や村で、そこに住む在家信者に教えを説き喜ばせ、その在家信者から同行の修行僧とともに食事の施しをお受けにられました。ペールヴァ村に到着された時には、雨季に入っていました。お釈迦様は、修行僧たち

「雨季の定住に入ろう」と、ペールヴァ村にしばらく滞在されました。その時、お釈迦様は急病に陥られ、生死の境をさまよわれましたが、「ここでニルヴァーナに入ることには、私にはふさわしくない」と、病苦をこらえて寿命のもとを留められて、ついに回復されました。

すると、その様子を間近で看病されながら見ておられたアーナンダ様が「お釈迦様が亡くなられたら、私たちは何を頼りにして生きていけば良いのですか」とお尋ねになりました。この問いに対して、お釈迦様はこうおっしゃったのです。「この世で自らを島とし、自らをたよりにして、他人をたよりにせず、法を島とし、法をよりどころとして、他のものをよりどころとせずにあれ」と。

### コロナにも ブレない日常

このエピソードは、現在「自灯明法灯明」といわれる仏教の基本姿勢の元話です。他人の言葉や意見に振り回されることなく、自分をよりどころにして生きること

を「自灯明」といいます。しかし、自分をよりどころとせよと言われても、よりどころとする自分の心はいつも不安定で自信もなく頼りにはなりません。ですから加えて「法灯明」とおっしゃるのです。「法」とは「教え」のこと。仏教を確かな物差しといただいた自分自身こそ、本当のよりどころとなるのです。

では、自分をよりどころとするのに必要な教えとは何かといえ、それは「諸

行無常」ということです。それは「諸々の事象は過ぎ去るものである」という道理です。私たちは、自分の都合の良い状態を変化させたくないという気持ちを頼りにするので、そうならない現実を受け入れることができずに苦しむのです。しかし、常に移り変わり続けるという事実をそのままに生きていけば、苦しみは間違いなく軽減していきます。

コロナウイルスだけでなく、これからも訪れるであろう様々な都合・不都合と共に歩む新しい日常を、ブレずに歩める要こそが仏教なのです。さあ、今こそお寺に積極的にお参りし、共に仏教を学んでいく中で、様々な都合・不都合に惑わされない、確かな日常を歩んでまいりましょう。



# 純正寺3月の皆の宗サンガ

サンガ(僧伽)とは、利害関係を超えた、互いに支え合う、安心できる本当の人のつながり「お念仏の家族」をあらわしています。純正寺のすべての活動は、あなたにも仏縁が整って、まことの同朋(とも)の出会いが広がっていくことを願い、運営されています。



今月のエコキヤップ

一、五四九、二七六個

立春過ぎてもまだ寒い二月も、たくさんの人達から八七二九個のキヤップをお預かりしました。ありがとうございました。

## キッズサンガ「ほとけの子ども会」

4日(土)  
15:00~17:00  
就学前・小・中学生対象

『らいはいのうた』のお勤めの後、仏典童話の読み聞かせと楽しいおやつタイムです。

## 「純正寺前住職33回忌」

9日(木)  
14:00~15:30  
年齢・性別は問いません

純正寺の本堂復興のために、お念仏の中で生き抜いた先代住職を、皆さんと共に偲びたい。

## ゆっくり学ぼう家「寺子屋」

12日(日)  
15:00~17:00  
小学生・中学生対象

教科書に沿った問題集や宿題、自主勉や読書に取り組みます。手洗い・マスクを忘れずに。

## 世のなか安穏なれ「ビハーラ彦根」

12日(日)  
18:00~20:00  
年齢・性別は問いません

参拝者の提起や質問を手がかりに、車座になって聴き合いながら、ビハーラの心を学びます。

## 「月例法話座談会」

15日(水)  
14:00~16:00  
年齢・性別は問いません

日常の「何故?」を通して、お念仏に生きる尊さと確かさを座談会形式で感じ学びます。

## みんなの食堂ビハーラ

16日(木)・30日(木)  
17:00~19:00  
年齢・性別は問いません

コロナの第8波もようやく収まりましたが、感染対策をしながら楽しくみんなで食事しましょう。

## 暑さ寒さも「春季彼岸会」

19日(日)  
10:00~15:30  
年齢・性別は問いません

真西に沈む太陽に、私の確かな命の行方をお浄土といただく日。法話は、藤澤慈恩師です。

## ヨガ風ストレッチ「びはーら体操」

21日(火)・28日(火)  
10:20~11:30  
年齢・性別は問いません

お香とインド音楽の中でのヨガ風ストレッチで、強くて柔らかな身体と心を作りましょう。

## こんき常例布教

25日(土)  
10:00~12:00.13:30~15:30  
年齢・性別などは問いません

所属寺の枠を超えて、法友ができる法座です。ご法話は多賀町蓮浄寺の豊原真人 師です。

## マスクの着用について

月参りの際のマスクの着用につきましては、ご門徒それぞれのお考えにおまかせいたしますので、読経中のマスク着用が必要ないとお考えの方は、住職にその場にてその旨お伝えください。

## 清々しい朝のおつとめ「常朝事」

年中毎朝 6:00~6:45  
年齢・性別など問いません  
『正信念仏偈』と『和讃』の繰り読み。『御文章』の拝読と住職の法話があります。LINE LIVE で生配信もします。

## 住職が聴きます「よろず相談」

随時、年齢性別は問いません  
生きることが辛くなる前に、早めに気軽にご相談下さい。  
相談予約専用電話番号は  
090-7874-2849  
相談予約専用メールアドレスは  
namo-yorozu@docomo.ne.jp